

福岡市バリアフリー基本計画
ロードマップ〈平成29～32年度〉(案)

平成29年3月

目次

第1 「福岡市バリアフリー基本計画」の基本理念と施策体系	-----
第2 ロードマップに基づく取組みについて	-----
【平成29年度～平成32年度】	
I ハード面のバリアフリー化	
1 旅客施設	-----
(1)鉄道駅	
(2)福岡市営地下鉄全線	
(3)バスターミナル	
(4)旅客船ターミナル	
(5)航空旅客ターミナル	
2 車両等	-----
(1)乗合バス	
(2)福岡市営地下鉄車両	
3 道路	-----
(1)生活関連経路(重点整備地区内)	
(2)信号機(重点整備地区内)	
(3)エスコートゾーン	
(4)バス利用環境の改善	
4 公園	-----
II ソフト面のバリアフリー化	
1 「心のバリアフリー」の推進	-----
(1)啓発・育成・実践	
(2)バリアフリー情報発信	
2 移動支援の推進	-----
III バリアフリー化の支援と進行管理	
1 スパイラルアップ	-----

第1 「福岡市バリアフリー基本計画」の基本理念と施策体系

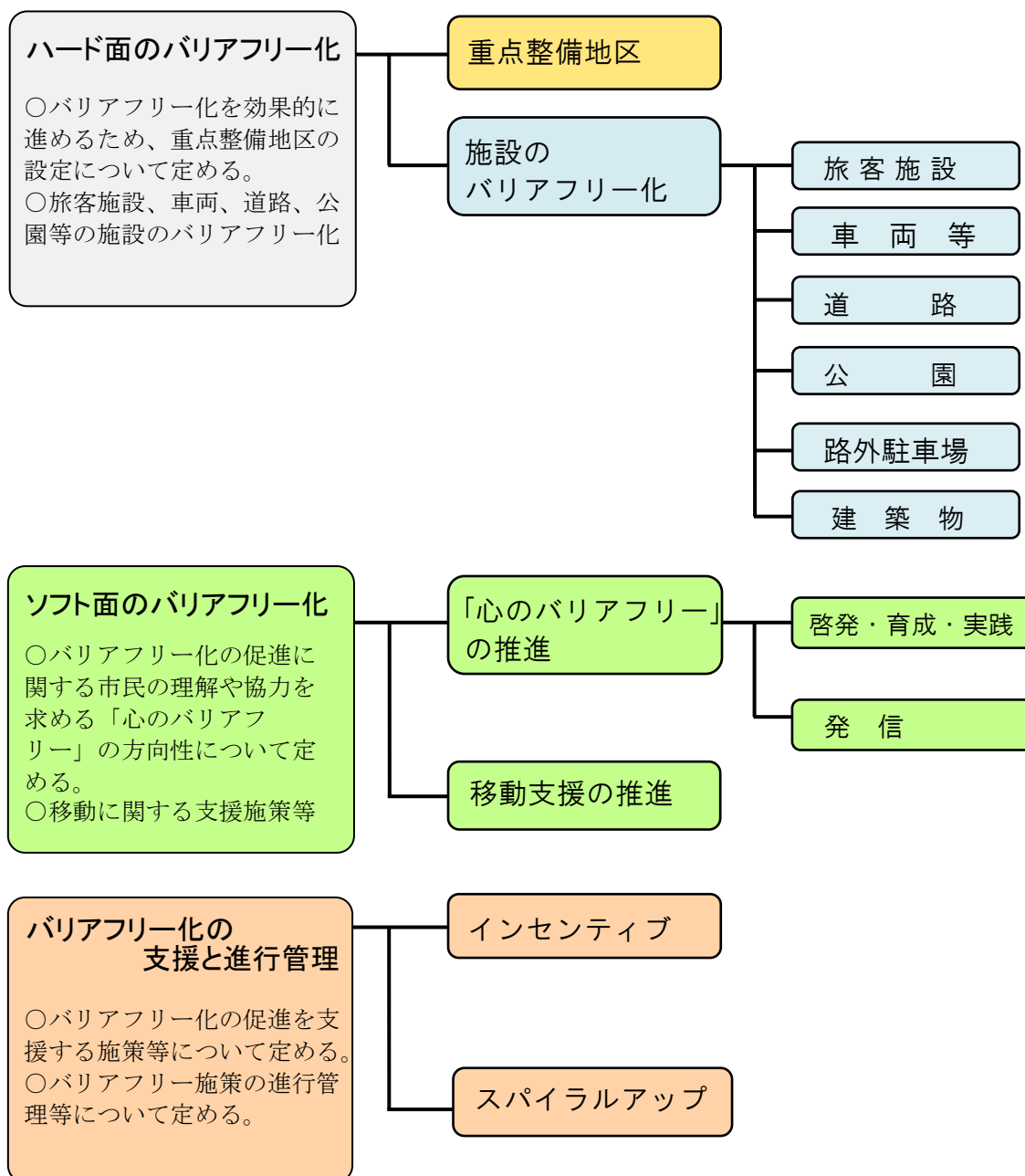
【基本理念】

本計画はバリアフリーの視点に立脚するものですが、ユニバーサルデザインの理念も踏まえて、すべての人にやさしい施設の整備や、すべての人がバリアフリー化の促進について理解し協力を惜しまない社会の実現をめざし、基本理念を次のとおりとします。

誰もが思いやりを持ち、すべての人にやさしいまちづくり

【施策体系】

本計画は、施設整備等のハード面の取組みを中心とする「ハード面のバリアフリー化」、
「心のバリアフリー」の推進など、ソフト面の取組みを中心とする「ソフト面のバリアフリー化」、及び「バリアフリー化の支援と進行管理」の3つの柱で構成されます。本計画の施策体系は、以下のとおりです。



第2 ロードマップに基づく取組みについて【平成29年度～32年度】

本ロードマップは、「福岡市バリアフリー基本計画」に定めるバリアフリー化推進の方向性や取組みの方向性に基づき、平成32年までの目標年次に向けて取り組む事業等について、〈後期〉の平成29年度から32年度までに着手・検討する項目を掲げています。記載していない項目においても、バリアフリー化推進に取り組んだ事業は随時追加します。

なお、福岡市バリアフリー推進協議会において、このロードマップ(H29.3作成予定)を基に進行管理及び取組内容等の検証等を行い、その結果に基づいて新たな取組みを講じることなどによりスパイラルアップを図っていきます。

また、整備目標や事業スケジュールは、事業の進捗状況、社会環境の変化、財政事情等により、今後、適宜見直ししていきます。

I ハード面のバリアフリー化

1 旅客施設

(1) 鉄道駅

①	鉄道駅のバリアフリー化			
整備内容	<p>1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の鉄道駅において、</p> <p>①段差の解消 エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組めます。</p> <p>②転落防止設備の整備 内方線付点状ブロック又はホームドアの設置等によるホームからの転落防止設備の整備に取り組めます。</p> <p>③視覚障がい者用誘導ブロックの整備 公共通路など駅施設の外部から駅施設内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組めます。</p> <p>④障がい者対応型便所の設置 便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組めます。</p> <p>・対象駅数:62 (H28年度より2駅追加)</p>			
指標	段差が解消された駅数	現状値 H28年度 61	平成32年度までに段差解消に取り組む	最終目標 H32年度 62
特記事項	<p>・利用者数が3千人以上となった駅については随時追加。</p> <p>・3千人以上の駅のバリアフリー化完了を見据え、2千人以上の駅への取組み検討を進める。</p> <p>・可動式ホーム柵等については、技術的課題を克服するための製品開発動向を踏まえ、設置に向け検討を進める。</p>			
【関係機関】 ○JR九州 ○JR西日本 ○西鉄 ○福岡市(交通局, 住宅都市局)				

(2) 福岡市営地下鉄全線

①	情報案内設備の改善			
整備内容	<p>(1)鉄道駅4項目のバリアフリー化(段差解消, 転落防止, 誘導ブロックの整備, 障がい者用トイレの整備)は整備済みであり、今後も文字情報や音サイン等の情報案内設備の改善に取り組めます。</p> <p>・対象駅数:35</p>			
指標	情報案内設備の改善	現状値 H28年度 整備中	改善に努める	
特記事項	<p>・文字情報は空港線・箱崎線の案内サインについて、路線全体の統一感を保ちながら平成31年度までに改良を進める。</p> <p>・天神一室見間のエスカレーターリニューアルにあわせた音声案内設置を進める。</p>			
【関係機関】 ○福岡市交通局				

(3) バスターミナル

① バスターミナルのバリアフリー化						
整備内容	<p>1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上のバスターミナルにおいて、</p> <p>①段差の解消 エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組みます。</p> <p>②視覚障がい者誘導ブロックの整備 公共用通路などターミナルの外部からターミナル内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組みます。</p> <p>③障がい者対応型便所の設置 便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。</p> <p>・対象ターミナル数:3</p>					
指 標	<table border="1"> <tr> <td>適切な維持・保全</td> <td>現状値 H28年度</td> <td rowspan="2">維持・保全に努める</td> </tr> <tr> <td></td> <td>整備済</td> </tr> </table>	適切な維持・保全	現状値 H28年度	維持・保全に努める		整備済
適切な維持・保全	現状値 H28年度	維持・保全に努める				
	整備済					
特記事項	・天神・博多ターミナルは、直近で完了したことから、当面、維持・保全に努める。					
【関係機関】 ○天神バスターミナル ○博多バスターミナル ○藤崎バス乗継ターミナル(福岡市道路下水道局)						

(4) 旅客船ターミナル（福岡市有施設のみ）

平成27年3月31日をもって、市営渡船の大岳寄港が終了し、対象ターミナル数が8となっています。

① 旅客船ターミナルのバリアフリー化													
整備内容	<p>1日当たりの平均的な利用者数は3千人未満ですが、福岡市の重要な海上交通機関である旅客船ターミナルにおいて、</p> <p>①段差の解消 エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組みます。</p> <p>②視覚障がい者誘導用ブロックの整備 公共用通路などターミナルの外部からターミナル内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組みます。</p> <p>③障がい者対応型便所の設置 便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。</p> <p>・対象ターミナル数:8</p>												
指 標	<table border="1"> <tr> <td>視覚障がい者誘導用ブロックの整備が完了したターミナル数</td> <td>現状値 H28年度</td> <td>目 標 H29年度</td> <td>目 標 H30年度</td> <td>目 標 H31年度</td> <td>最終目標 H32年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4</td> <td>—</td> <td></td> <td>→</td> <td>8</td> </tr> </table>	視覚障がい者誘導用ブロックの整備が完了したターミナル数	現状値 H28年度	目 標 H29年度	目 標 H30年度	目 標 H31年度	最終目標 H32年度		4	—		→	8
視覚障がい者誘導用ブロックの整備が完了したターミナル数	現状値 H28年度	目 標 H29年度	目 標 H30年度	目 標 H31年度	最終目標 H32年度								
	4	—		→	8								
特記事項	<p>・視覚障がい者誘導用ブロックの整備を順次進める。</p> <p>・今後とも維持・保全に努める。</p>												
【関係機関】 福岡市港湾空港局(○国際ターミナル ○博多ふ頭第2ターミナル ○市営渡船待合所)													

(5) 航空旅客ターミナル

① 航空旅客ターミナルのバリアフリー化						
整備内容	<p>1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の航空旅客ターミナルにおいて、</p> <p>①段差の解消 エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組みます。</p> <p>②視覚障がい者誘導用ブロックの整備 公共用通路などターミナルの外部からターミナル内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組みます</p> <p>③障がい者対応型便所の設置 便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。</p> <p>・対象ターミナル数:3</p>					
指 標	<table border="1"> <tr> <td>適切な維持・保全</td> <td>現状値 H28年度</td> <td rowspan="2">改善に努める</td> </tr> <tr> <td></td> <td>整備済</td> </tr> </table>	適切な維持・保全	現状値 H28年度	改善に努める		整備済
適切な維持・保全	現状値 H28年度	改善に努める				
	整備済					
特記事項	<p>・国事業の平行誘導路二重化に伴い国内線旅客ターミナルを再整備工事中(平成27年度から平成30年度まで)</p> <p>・工事期間中においても、可能な限りバリアフリーに配慮しながら再整備を進める。</p>					
【関係機関】 ○福岡空港(国内線旅客第1ターミナル, 国内線旅客第2・第3ターミナル, 国際線旅客ターミナル)						

2 車両等

(1) 乗合バス

① ノンステップバスの導入			
整備内容	車両更新時にノンステップバスの導入に取り組みます。		
指標	導入されたノンステップバス数(導入率%)	現状値 H28年度 382(見込) (29.4%)	継続導入
特記事項	・国が定める目標(平成32年度までに乗合バスの70%をノンステップとする)に少しでも近づくよう継続導入する。		
【関係機関】 ○西鉄 ○昭和自動車 ○JR九州バス ○福岡市住宅都市局			

(2) 福岡市営地下鉄車両

① 地下鉄車両のバリアフリー化			
整備内容	優先スペースを滑りにくい床表面とします。 ・優先スペースのある車両数:178		
指標	優先スペースを滑りにくい床表面とした車両数	現状値 H28年度 整備済	維持・保全に努める
特記事項			
【関係機関】 ○福岡市交通局			

3 道路

(1) 生活関連経路（重点整備地区内）

① 道路のバリアフリー化						
整備内容	重点整備地区内の生活関連施設相互を結ぶ道路のバリアフリー化に取り組みます。 ・整備内容:歩道の段差解消, 視覚障がい者誘導用ブロック敷設など ・対象延長:43.6km					
指標	バリアフリー化整備が完了した道路延長(km)	現状値 H28年度 35.6(見込)	目標 H29年度 37.1	目標 H30年度 38.4	目標 H31年度 39.4	最終目標 H32年度 41.7
特記事項	・目標の達成へ向け、整備を進めて行く。【道路下水道局】 ・国道202号春吉橋架替事業にあわせて、バリアフリー化整備予定。 【福岡国道事務所】 ・博多・中央ふ頭地区は、ウォーターフロント地区再整備等の進捗状況を踏まえ検討する。 【港湾空港局】					
【関係機関】 ○福岡市(道路下水道局, 住宅都市局, 港湾空港局) ○福岡国道事務所						

(2) 信号機（重点整備地区内）

① 信号機のバリアフリー化			
整備内容	重点整備地区内の生活関連経路における信号機のバリアフリー化に取り組みます。 ・整備内容:音響式付加信号, 視覚障がい者用付加信号, 高齢者感应式信号, 歩車分離式信号などの設置 ・対象箇所数:196箇所		
指標	バリアフリー化された信号機	現状値 H28年度 整備済	機能付加
特記事項	・信号機のバリアフリー化は一定の整備は完了したが、必要に応じて機能を付加していく。		
【関係機関】 ○福岡県公安委員会(福岡県警)			

(3) エスコートゾーン

① エスコートゾーンの設置	
整備内容	横断歩道における視覚障がい者の誘導対応として、必要に応じてエスコートゾーンの設置に取り組みます。
指 標	エスコートゾーンの設置数
	現状値 H28年度 5
	適宜設置
特記事項	・利用者意見を踏まえ、要望があれば設置について検討する。
【関係機関】 ○福岡市道路下水道局 ○福岡国道事務所 ○福岡県公安委員会(福岡県警)	

(4) バス利用環境の改善

① 歩道のマウントアップ	
整備内容	ノンステップバス導入路線を中心として、バス停での乗降しやすさを改善するため、バス停部における歩道のマウントアップ整備に取り組みます。 ・対象箇所数:200箇所(生活関連経路上のバス停)
指 標	バス停部におけるマウントアップされた歩道(重点整備地区内の生活関連経路)
	現状値 H28年度 161(見込)
	目 標 H29年度 164
	目 標 H30年度 165
	目 標 H31年度 166
	最終目標 H32年度 180
特記事項	・目標の達成に向け、整備を進めて行く。【道路下水道局】
【関係機関】 ○福岡市(道路下水道局, 港湾空港局) ○福岡国道事務所	

② 利用環境の改善	
整備内容	バス停の利用改善のため、上屋やベンチの設置に取り組みます。 ①路線バス事業者による設置 ②道路管理者による設置の検討
指 標	上屋やベンチの設置促進
	現状値 H28年度 ベンチ設置の 考え方整理
	適宜設置
特記事項	・バス停への上屋ベンチの設置については、バス事業者による利用者サービスを基本としつつ、道路管理者においても、バリアフリー重点整備地区内の生活関連経路上などにおいて、上屋およびベンチの設置を推進していく。 【道路下水道局】 ・国道202号外環状道路は、PPPの試行を開始し、バスカット整備にあわせて、上屋整備を予定 【福岡国道事務所】 ※PPP:官が整備した上屋を民間事業者が広告収入で維持管理する新たな取り組み ・道路下水道局などより上屋ベンチが設置される箇所以外の、公共交通の乗継箇所となるバス停(鉄道⇒バス, バス⇒バス)を中心に、引き続き、バス事業者に対して、バス停上屋ベンチの設置を働きかけていく。 【住宅都市局】
【関係機関】 ○福岡市(道路下水道局, 港湾空港局, 住宅都市局) ○福岡国道事務所 ○西鉄 ○昭和自動車 ○JR九州バス	

4 公園

○福岡市が設置・管理する公園

① 園路及び広場のバリアフリー化	
整備内容	公園の新規及び再整備等にあわせて、園路及び広場のバリアフリー化整備に取り組みます。 ・整備内容:有効幅員の確保, 段差の解消など ・対象公園数:1,630公園(すべての公園数)
指 標	園路及び広場をバリアフリー化した公園数
	現状値 H28年度 108(見込)
	目 標 H29年度 122
	目 標 H30年度 136
	目 標 H31年度 150
	最終目標 H32年度 164
特記事項	・公園の新設及び再整備等にあわせて、バリアフリーの基準に合致した園路・広場の整備を進める。
【関係機関】 ○福岡市住宅都市局	

② 駐車場のバリアフリー化						
整備内容	駐車場がある場合には駐車場のバリアフリー化整備に取り組みます。 ・整備内容:車いす対応駐車スペースの適正台数の確保など ・対象公園数:31公園(駐車場がある公園数)					
指標	駐車場をバリアフリー化した公園数	現状値	目標	目標	目標	最終目標
		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		31(見込)	維持・保全	維持・保全	維持・保全	31
特記事項	・公園の新設及び再整備等にあわせて、バリアフリーの基準に合致した園路・広場の整備を進める。					
【関係機関】 ○福岡市住宅都市局						

③ 障がい者対応型便所の設置						
整備内容	トイレの設置が必要な公園については、公園の新規及び再整備等にあわせて、障がい者対応型便所の設置を進めます。 ・整備内容:障がい者対応型便所の整備。 対象公園数:358公園(トイレを設置している公園数)					
指標	障がい者対応型便所を整備した公園数	現状値	目標	目標	目標	最終目標
		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		62(見込)	76	90	106	120
特記事項	・公園の新設及び再整備等にあわせて、障がい者対応型便所の設置を進める。					
【関係機関】 ○福岡市住宅都市局						

Ⅱ ソフト面のバリアフリー化

1 「心のバリアフリー」の推進

(1) 啓発・育成・実践

バリアフリー化促進にかかる市民の理解と協力を求める「心のバリアフリー」を全市的に発展させます。

〔啓発〕

① 幅広い市民を対象とした取組み			
取組内容	障がい者週間などの既存行事やバリアフリー表彰などに合わせたシンポジウム等の開催を検討します。		
指標	幅広い市民を対象とした啓発	現状値	継続
		H28年度 実施	
特記事項	・障がい者週間にあわせて「障がい者週間記念の集い」を開催する。		
【関係機関】 ○福岡市保健福祉局			

〔啓発〕

② 啓発ツール等の作成			
取組内容	啓発行事や出前講座、研修会などにおいて活用する啓発ツール等の作成に取り組みます。		
指標	啓発ツール等の作成	現状値	継続
		H28年度 活用	
特記事項	・作成したツールを出前講座などあらゆる機会を捉えて活用を進める。		
【関係機関】 ○福岡市保健福祉局			

〔育成〕

① 出前講座など			
取組内容	地域団体や民間企業、児童・生徒など、対象者に応じた出前講座や教育を進めます。		
指 標	出前講座や教育の実施	現状値 H28年度 実施	継続
特記事項	・子ども向けの講座の充実や、実施にあたっては様々な関係機関と連携して取り組む。		
【関係機関】 ○福岡市保健福祉局			

〔育成〕

② 行政職員研修			
取組内容	新規採用職員や公共施設整備の担当職員に対するバリアフリー体験研修、公共施設整備の担当職員向け技術研修の実施に取り組みます。		
指 標	行政職員研修の実施	現状値 H28年度 実施	継続
特記事項	・これまで実施している研修を引き続き実施する。 ・障がい者施設への体験研修など障がいへの理解をより深める研修の検討		
【関係機関】 ○福岡市保健福祉局			

〔実践〕

① 「バリアフリーマップ」の更新・調査			
取組内容	市民参加の新たな手法による「福岡市バリアフリーマップ」の更新、調査に取り組みます。		
指 標	市民参加による「バリアフリーマップ」の更新・調査	現状値 H28年度 実施	継続
特記事項	・バリアフリーマップに掲載している施設情報の追加・更新を、引き続き進める。		
【関係機関】 ○福岡市保健福祉局			

〔実践〕

② 共働でバリアフリー化を推進する仕組みづくり			
取組内容	利用者の声を施設設置管理者に伝えるとともに、意見交換等により共働でバリアフリー推進を図る仕組みの構築や「まち歩き」に取り組みます。		
	実施スケジュール	現状値 H28年度 検討中	継続
	共働でバリアフリー化を推進する仕組みづくり(まち歩き)		
特記事項	・(仮称)バリアフリーのまちづくりサポーター制度に取り組む。		
【関係機関】 ○福岡市保健福祉局			

(2) バリアフリー情報発信

ハード整備やソフトの取組み成果を積極的に発信し、市民の社会参加を促進します。

① バリアフリー表彰制度			
取組内容	バリアフリーの推進に関して功績のあった者に対する表彰を行い、優れた取組みの普及、啓発の促進に取り組みます。(「ユニバーサル都市・福岡」の推進との連携)		
指 標	バリアフリー表彰制度の実施	現状値 H28年度 実施	調整中
特記事項			
【関係機関】 ○福岡市(総務企画局, 保健福祉局)			

② バリアフリー優良事例等の収集と公表			
取組内容	バリアフリー表彰制度と併せて、優れた取組みや的確な工夫、アイデアなどの優良事例を収集し、情報発信に取り組みます。		
指 標	バリアフリー優良事例等の収集と公表	現状値 H28年度 実施	調整中
特記事項			
【関係機関】 ○福岡市(総務企画局, 保健福祉局)			

③ 進捗状況の公表			
取組内容	福岡市バリアフリー基本計画の進捗状況の公表を行います。		
指 標	バリアフリー基本計画の進捗状況の公表	現状値 H28年度 公表	継続
特記事項	・後期ロードマップ(H29～H32年)を作成し、取組実績について市ホームページに掲載する。		
【関係機関】 ○福岡市保健福祉局			

2 移動支援の推進

既存のハード面を補完し、移動を支援していくソフト面のバリアフリー化に取り組みます。

① わかりやすい案内表示等の研究			
取組内容	主要な駅等を中心に商業施設や公園等の生活関連施設を含むエリア等を対象に、歩道や信号機のバリアフリー化にも合わせて、全ての移動者に分かりやすいサインや案内表示等のあり方等の研究に取り組みます。(施設整備マニュアル改訂と連携)		
指 標	わかりやすい案内表示等の研究	現状値 H28年度 活用	継続
特記事項	・改訂した「施設整備マニュアル2014」を活用し、引き続きわかりやすい案内表示に取り組む。		
【関係機関】 ○福岡市保健福祉局			

② 「バリアフリーマップ」の更新・調査【再掲】			
取組内容	市民参加の新たな手法による「福岡市バリアフリーマップ」の更新，調査に取り組みます。		
指 標	市民参加による「バリアフリーマップ」の更新・調査	現状値 H28年度 実施	継続
1 「心のバリアフリー」の推進(再掲)			
特記事項	・バリアフリーマップに掲載している施設情報の追加・更新を、引き続き進める。		
【関係機関】 ○福岡市保健福祉局			

Ⅲ バリアフリー化の支援と進行管理

1 スパイラルアップ

バリアフリー化の段階的・継続的な発展を図ります。

① 施設整備マニュアルの改訂			
取組内容	福岡市バリアフリー基本計画に定めるバリアフリー推進の方向性や社会情勢の変化への対応なども踏まえ、福岡市まちづくり条例施行規則に定める整備基準等をまとめた『施設整備マニュアル』の改訂に取り組みます。		
指 標	施設整備マニュアルの改訂	現状値 H28年度 運用	継続
特記事項	・改訂した「施設整備マニュアル2014」を引き続き運用する。		
【関係機関】 ○福岡市保健福祉局			